

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年の評価後、スローガンを考え、書道教室にて皆さんに書いて頂き、掲示しました。その後、タイル細工に仕上げ掲示しています。 “支えあい ほほえみあって 安心して住める家”		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、行なわれる朝礼の席や面接時などに確認できていると思います。人権の尊重、個別ケア、身体拘束や虐待ゼロ		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会や地域に出かける取り組みを行い、毎月の便りなどにより、お知らせしご協力いただいています。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣接の特養、ケアハウスとは、お互い行き来しています。ご近所の方には挨拶をするよう心掛けています。サークル活動やボランティアの方などが立ち寄ってくださいます。隣のグループホームの方には、行事の度に声をかけ、来ていただいています。	○	ご近所の方が気軽に立ち寄っていただける環境づくりを考えたいと思っています
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の広報誌などを参考に、すすんで行事に参加しています。(小学校の運動会、三世代交流カルタ会、クラシックコンサートなど)	○	自治会、老人会に加えていただこうと声をかけていますが、ご返事をいただけていません。

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>毎年、夏祭りを開催し、御利用者様、御家族様と共に 地域の方々に楽しんでいただいています。高齢の方々が多く来て頂けるようにバスを運行しています。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価委員会を開催し、自己点検に努め、改善点のチェックを行い、改善に向けた取り組みをしています。外部評価でも、評価による改善点は、会議で話し合い取り組んでいます</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回、開催し報告を行い、ご意見を頂いています</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>常に連絡をとっています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要だと思われる方には、お話しする準備はありますが、実際には活用したことはありません</p>	○	<p>勉強会が開催できていないので 先ず、資料を回覧し、その後、必要にあわせて考えます。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>委員会からの報告やアンケートを通じて勉強する機会があります。又、常に虐待ではないかを意識し、ケアに取り組んでいます。</p>		

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情があれば、管理者にあつて直接話していただいています。必要があれば、会議で検討します		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月一回、お便りを出し、報告や個々の状態を写真をつけてお知らせしています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設置しています。市にも窓口があります。玄関には苦情受付箱があります	○	苦情受付箱には、一度もご意見が入らないので 今後、毎月のお便りにご意見用紙を同封してみます。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年2回個人面談の機会があります。職員会議で話し合っています。又、それ以外にいつでも相談できます		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様の状態や行事に合わせ、勤務時間の調整をしています。又、行事等必要時には職員数を確保できるよう勤務を組んでいます。急な変更にも対応できるよう職員間で協力しています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今年度は退職者があり、それ以外に2名入れ替がありました。増員もありました。		

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間の研修予定を組み、それ以外の内外の研修を、職員の経験などにあわせて受ける機会を設けています</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今年度、同法人のグループホームとの交流を年4回実施します。今後、回数を増やし、職員の交流、スキルアップに役立てたいと思います</p>	<p>○ 他法人のグループホームとの交流の機会を設けたいと思います</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>年2回 運営者と直接 面談し、思いや悩みを相談しています。また、年2回パーティーを開催しています。シフトの作成時、夜勤後は休みを入れるなど 出来るだけ工夫をしています。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>年2回の自己評価などにより、各人の努力点などを評価し、持てる能力が発揮できるように考えています。</p>	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>できるだけ、声掛けをし、コミュニケーションを多くとり、話せる機会を持つように心掛けています</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>特に相談時には、困っておられることを多く聞きます。</p>	

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	悩みをお聞きし、何を必要とされているかを考え、ご相談者に必要なサービスをお勧めしています。他のサービスのご利用や在宅での過ごし方、ケアの方法なども分る範囲でお話しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には必ず、ご本人に来ていただき、了解していただいています。その上でお試し入居をしていただいています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	”一緒に暮している”という思いを持ち、出来ることは全てして頂き、一人一人役割を持っていただいています。特に食事作りでは教えて頂く事が多いと思います		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族にさせていただけることは、ご協力をお願いしています。色々な行事には参加を呼びかけ、ご利用者様と共に楽しんでいただき、外出には同行し下さり、助けていただいています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	嬉しいことも困っていることも全て報告させていただいています。困った時は一緒に解決できる糸口を考えていただいています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ケアハウスから来られた方には、ケアハウスの方に来ていただいたり、会いに行ったりしています。ご家族が来られたときには、ゆっくりしていただけるようスペースを設けています。地域のなじみの場所に出かけたり、自宅に帰る事もしています	○	一部の方しかできていないので、多くの方の実施を心掛けたいと思っています
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	御一人づつ、個性を見ながら、席の工夫や声掛けをしています		

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	その後の様子を伺っています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	どう暮らしたいか、一つ一つお聞きし、無理強いのしない暮らしをして頂くよう心掛けています		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にはご家族に記録をお願いし、入居後も本人、ご家族からの聞き取りにより、情報収集に努めています	○	不十分なので今後は情報収集に努めたいと思います
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	少しの変化も見逃さないよう心掛け、その情報を職員で共有しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスなどにより、本人の希望やしたいことなどを検討し、ご家族の思いをいれ、計画を作成していますが、本人の希望がなかなか聞きだしにくい状態です。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じ、カンファレンスを開き、見直している。体調や状態変化が起こった場合は、速やかに話し合い、対応していますが、計画を作成することが、遅れています	○	現状に即した計画の見直しを速やかに行いたいと思っています

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ケア日誌、日報を日々記録し、仕事につく前に、必ず、読んで情報を得ています。月末にはそれぞれの担当が見直し、介護計画に生かしています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	使える物は全て共有させていただいています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	夏祭りや毎月の教室、消防訓練にはご協力を頂いています。又、社協や小中学校からは行事のお知らせを頂いています		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	希望があれば、すぐに連絡をとり検討します。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今まで希望はありませんでした		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人のかかりつけ医とは、常に連絡を取れる状態にあります。他の医療機関との連絡も必要時にはとっています。	○	ご本人、御家族にお任せしている方がお一人おられるので、早急に連絡をとりたいと思っています。

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	申し送り時は、事務所で行うようになりましたが、言葉使いや伝達事項がある時など 今以上に注意が必要だと思います。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に選択権や決定権は御利用者にあると考えています。各教室や外出時、又、入浴などはご本人にどうしたいか、向き合ってゆっくりお聞きしています	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食は8時ごろですが、遅い方には起きられた時間で朝食を召し上がっていただいています。又、その日の日程を毎朝、お話していますが、お断りになる方はほとんどなく、皆さんで出かけるを楽しみにされます	○ その日をどのように過ごしたいかは、お聞きできる方に聞いています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容美容はどちらがよいか、お聞きしています。身だしなみは鏡を置き、自由に出来ます。又、入浴後は化粧水、クリームを自由につけていただけます	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買物は、同行した御利用者に好きな物を選んでいただいています。調理、盛り付はご希望を聞きながら、一緒に行なっています。苦手な物は、代応食に変えています。毎日全員が食事の準備に関われるよう心掛けています。片付けは、下膳する方、洗う方、すすぐ方、拭く方、食器を片付ける方、テーブルを拭く方、掃き掃除をする方と全てすすんでしてください	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	御茶が嫌いな方の水分補給にはジュースやポカリなどを準備しています。買物同行時に好みのものを購入しています。又、頼まれて購入することもあります。体調に合わせて楽しんでいただいています。同法人の喫茶、居酒屋、売店も利用しています。	

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	毎日の排泄チェック表を参考にパターンを知り、失敗を少なく出来るように声掛けをしています。特に排便は注意をしています		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は決めています、その都度 希望をお聞きしています。今のところ入浴希望者はなく、断る方にいかにして入っていただくに困っています。入浴されないときには足浴を行なっています		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	御一人ずつの生活習慣を尊重し、その方のあった生活パターンで暮していただいています。日中でも御疲れの方は居室で休んでいただいています		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	色々な教室に参加したり、家事を任せたり、それぞれにあった日々の役割をしていただいています。誕生月にはその方にあった外出を計画し楽しんで頂けるように考えています		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小銭を持っておられ管理されている方は3名おられます。他の方は買い物に行っても興味なさそうですが、日々、「財布がない」「お金がない」と言われますので、今は預かっていまずと言うと「ア～良かった」と安心されます	○	お金がないと不安が大きくなるので、所持して頂く事も考える必要があるように思います
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	筋力低下予防の為に、できるだけ戸外に出られるよう声掛けをしています。買い物の同行、散歩など		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個々に希望を聞きし、誕生つきにあわせて 外出を企画しています。個々の外出は、御家族と相談の上 外出を考えています。 1年に1度、御利用者、御家族、スタッフ全員で日帰り旅行に出かけています。月に1回は外食をしています。		

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に電話は掛けていただいています。お一人は、携帯電話で自由に話しておられます。手紙は自分から書かれることは少ないので、スタッフが返事を書かれることや年賀状をだすことをすすめています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来てくださる事を歓迎しています。ソファスペースを設け、ゆっくり御話していただけるように心掛けています。又、他の利用者様にお茶を出していただいています		
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会を通じて徹底されています		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵は、朝、起床されたら明け、日暮れ前に施錠します。玄関は、7時ごろに開け、夜8時すぎに施錠します		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	玄関にセンサーが設置されており、御利用者様の安全に気をつけています。門を出られるときは同行します。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険なものを片付けていることは特にありませんが、薬剤は施錠できる場所に保管しています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットや事故が起こった後、必ず報告し、再発防止に向けて会議の中で検討しています		

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	心臓マッサージ、人工呼吸の訓練は定期的に行なっています。看護師の指導により、研修を受けています。今年度、AEDが設置され、講習を受けました。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練をしています	○	地域の方にも避難訓練に参加して頂けるようお願いしたいと思います
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	細かなことでも 常に状態変化を報告させていただいています		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	スタッフで対応できないときは、グループホーム看護師に相談し、必要があれば、同法人看護師、医師に連絡をし、速やかに対応するよう努めています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	配薬時に必ず処方箋とのチェックを行なっています。頓服や特記事項はすぐに見ることができるようにしています		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の補給に心がけ、ラジオ体操や歩行などの運動の声掛けを行っています。又、出来るだけ薬に頼らず、繊維の多い食物を摂れる様に考えています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	ご自分でされる方には声をかけ、できない方にはケアに入っています。又、歯医者への往診もお願いしています。今年度は、御利用者全員対象に検診を行いました。		

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	気になる方は、食事や水分チェックをしています		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	委員会を通じて徹底されています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所の清潔保持に努め、夜間は包丁の熱湯消毒、まな板や食器の乾燥を行い、食材は毎日新しいものを購入して使用しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	御利用者にとってはバリアフリーで安心して出入りしていただいていると思いますが、ご近所の方は人通りが少ないせいもあり、出入りはしていただけていません	○	近隣の方々が出入りしやすい工夫が必要だと思います。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月のカレンダーや生け花、季節に応じた飾り物などを行っています。フローアから見えるテラスには季節に応じた花を植え、楽しんでいます。裏の畑には、季節ごとの野菜づくりを御利用者と共にしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスでは日向ぼっこができ、応接スペースでは、外を見ながら2、3人づつ話をされています。こたつコーナーでは、テレビを見ながら、就寝までの時間を過ごされます。		

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にはご使用になっておられたものを持参して頂くようお願いしています。入居後も 必要と思われるものがあれば、ご相談させていただいています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気扇は廻していますが、日中は窓を開け、全居室、トイレの換気を行っています。掃除時にはフローアールや廊下の窓も開けて換気しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご自分の生活を続けていただく為に ご自分で生活スペースを作ってくださいますが、動けるスペースを確保する必要があるときは、相談させていただいています		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	失敗はさりげなく片付け、原因を探り、今後少なくなる方法を考えています。表札、トイレ表示、張り紙など御利用者様が自分でできるよう工夫をしています。お茶碗、湯呑お箸など常に使用し、御利用者にお手伝いいただけるよう個人の名前を記入しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りは作物作りが好きな方に畑をして頂き、みずやりをしていただいています。又、草むしりもしていただいています。ベランダは季節の花を植えていただいたり、みずやりをしていただいています		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホーム山城ぬくもりの里(つくばい)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ご利用者が一番楽しみにされているのは、やはり食事だと思います。毎日、一緒に準備や片付けをします。毎月1回以上は外出をし、豪華な食事をするのも楽しみの一つです。お正月のおせち、秋祭りの鯖寿司など季節ごとの食べ物を御利用者に教えていただきながら作っています。如何にしたら御利用者が喜んでくださるか、季節感を感じてくださるかを常に考えて取り組んでいます。
- ・食事を安心して安全に楽しんでもらう為に毎食前の嚥下体操や食後の口腔ケアを心がけ、清潔保持に努めています
- ・いつも心掛けているのは、“自分が入りたいと思うグループホームにしたい”と思っています。食べたい、出かけたいたいなど希望を可能にしてくれるスタッフがいることがアピールポイントだと思います。
- ・季節の行事は、御家族にお知らせし、多く参加していただけるように呼びかけています。一回でも多く足を運んでいただき、ケアも一緒に考えて頂けるようにコミュニケーションをとりたいと考えています。